

田淵太郎展

白ノ幽玄



2015. 9.12 SAT - 22 TUE

GALLERY  
うつわノート

## 田淵太郎展 白ノ幽玄

二〇二五年九月十二日(土) ～ 二十二日(火) 会期中無休  
 営業時間 十一時～十八時 作家在廊日 九月十二日(土)

料金後納  
 ゆうメール

田淵太郎さんは1977年生まれ。地元・香川県高松市の山間部にある古民家で薪窯焼成による白磁のオブジェや器を作っています。薪窯といっても、伝統的な焼き物の系譜を辿るのではなく、むしろ現代的な陶芸表現手段として選んでいる点がユニークなのです。

白磁を薪窯で焼く場合は、焚口が分離した登窯を用いるか、匣鉢(さや)に入れて表面を灰で汚さないようにするのが一般的です。しかし田淵さんは、器物に直接火が当たる穴窯で白磁を焼いています。

窯の中を通る炎や降り注ぐ薪の灰によって、敢えて白磁の表面に変化を与え、景色として活かしています。ばらつきが多く生産は良くありませんが、それでも尚、その方法に拘るのは、人為的には決して作り出せない唯一の表情を得るためです。

火の方向による静と動の同居。時に優しく、時にドラマチックに。それは月が見せる反射光の静かな生の姿と、隕石による荒々しい死の世界にも似ています。田淵さんの白磁の景色を眺めていると、表層の奥に織り込まれた幽玄の境地に至るのです。

本展では、オブジェ、食器、花器などが並びます。  
 いずれもひとつひとつに生命が宿る無二の器。  
 どうぞ「白ノ幽玄」の世界をご堪能ください。

店主

## プロフィール

1977年 香川県生まれ  
 2000年 大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業  
 2007年 香川県高松市に穴窯を築窯  
 2015年 現在、同地にて制作



## ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
 TEL 049-298-8715  
 MAIL utsuwanote@gmail.com

電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分  
 本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分  
 バス：川越駅東口3番乗り場 [小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車  
 川越駅西口2番のりば [小江戸巡回バス]乗車～[喜多院]下車  
 車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(6～8番)

